



Matsuyama
Business
College

松山デザイナー専門学校
Webクリエイター学科

令和7年度 シラバス
〔2年〕

令和6(2024)年度入学 Webクリエイター学科 Webクリエイターコース カリキュラム一覧

必修/ 選択	科目名	種別	担当者	2年		
				前期	後期	単位
必修	ネット関連法規	講義	高橋		30	2
	Webディレクション	講義	永田		30	2
	Webプロモーション論	講義	大野	30	30	4
	デジタルプロモーション	講義	高橋	30		2
	写真映像撮影技法Ⅰ	実習	帽子	30		1
	写真映像撮影技法Ⅱ	実習	服部		30	1
	WebプログラミングⅢ	実習	梶田	150		5
	ネットワーク論	講義	安藤	30	30	4
	データベース論	講義	勝本	60	60	8
	制作実習Ⅲ	実習	高橋	120		4
	制作実習Ⅳ	実習	高橋		150	5
				450	360	38
必修科目 合計				810		38
年間合計時間/単位数				810		38

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	ネット関連法規			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高橋 良昌			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスと著作権などの知的財産権については、映画産業、音楽産業だけにとどまらず、会社のパンフレット、Webサイトの運営など、あらゆる業種、あらゆる部門において知識が求められる。本講座では、著作権の基礎・知識を身に着ける						
学習到達 目標	ビジネス著作権検定BASIC 合格レベル						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	導入部分		著作権の学習をする前に、学習目的と到達目標について				
2	著作権とは何か		著作権総則からみる、性質と目的				
3	著作権で保護される対象		著作物の定義と例示、その他の問題点				
4	著作権はだれが持つ		著作者の定義と例外、著作者と著作権者				
5～7	著作権の内容		人格権と財産権、著作者人格権、公示権、氏名表示権など				
8	著作権の保護期間		著作権の始期、著作権の保護期間、国際保護				
9	他人の著作権は勝手に使えない		著作権の譲渡、利用許諾、契約				
10	勝手に使える場合がある		権利限定規定、私的利用の関係、教育・図書、非営利目的等				
11	著作物を伝達する者を保護		著作物隣接権、保護期間				
12	著作権の侵害		著作権の侵害、みなし侵害、民事的対策				
13	知的財産権制度		知的財産権制度、財産産業権				
14	情報社会と情報モラル		情報モラルと著作権、プライバシー				
15	期末試験		学習した範囲を対象に検定試験を行う				
使用テキスト 教材・教具	『ビジネス著作権検定®BASIC・初級公式テキスト』ウィネット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	検定試験80%、小テスト20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ビジネス著作権検定 BASIC 2025年2月上旬		
備考							

授業科目	Webディレクション	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年
授業科目の テーマと 目的	Webディレクターの役割や業務の概要を理解し、クライアントニーズ(予算・納期・要望)をうまく反映させた内容でユーザーニーズにハマるサイト設計ができるようになり、デザインをはじめとする制作学習に活かせるような知識・スキルを身につける				
学習到達 目標	Webディレクターの役割と必要な技術を理解し、Webディレクターとして、実際の業務に活用出来る知識と技術を理解出来る				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ディレクターとして企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わずニーズ・予算に応じたサイト制作の提案と設計・進行管理			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webディレクションの概要を理解する	科目の説明、Webディレクションとは何か、Web業界におけるディレクターの役割やリーダーシップの重要性を学習する			
2	Webディレクターの業務内容を詳しく理解する	プロジェクトマネージャーの役割、リソース、スケジュール、予算・コスト、外注、品質などの管理の概要を学ぶ ※小テスト			
3	Webディレクターの業務の流れを理解する	ヒアリング、提案から、プロジェクト管理、クロージングまでの一連の流れと実践で活用するために必要な知識を理解・学習する ※小テスト			
4	ニーズの違いを把握し理解する	クライアントニーズとユーザーニーズの違いやユーザー観点から考え、分かりやすさ・使いやすさに配慮した作品制作ができるようになる ※小テスト			
5	ヒアリングシートの重要性と作成方法を理解する	ヒアリングシートの重要性と具体的な書類作成方法、押さえるべきポイント(要望を引き出すテクニック)が理解できるようになる			
6	【実習】 ヒアリングシート	模擬ヒアリングを行い、内容をもとに実際にヒアリングシートにまとめる ※課題提出			
7	見積もり作成の概要を理解する	見積もりに際し、注意する点や金額算出の考え方を学び、予算やコストの観点からサイト規模に応じた提案ができるように学習する			
8	【実習】 見積もり	題材とするサイトを見ながら、具体的な使用技術を探り、見積もり演習を行う			
9	企画・提案書の作り方を理解する	企画の案出し・探り方とクライアントニーズに基づいた提案書の作り方を学ぶ ※課題提出			
10～11	【実習】企画・提案書(グループワーク)	企画・提案書の作り方を理解した上で、実際に要件に応じた企画案を含んだ提案書を作成する			
12	【発表】企画・提案書(グループワーク)	グループワークで作成した提案書をグループごとにプレゼンを行う ※課題発表			
13	サイトの設計方法を理解する	サイトマップを組み、ヒアリングシートをもとにワイヤーフレームに展開していく方法を学ぶ			
14	【実習】ワイヤーフレーム(グループワーク)	サイトの設計方法を理解した上で、実際に要件に応じたサイト設計を行いワイヤーフレームを作成する			
15	【発表】ワイヤーフレーム(グループワーク)	グループワークで作成したワイヤーフレームをグループごとにプレゼンを行う ※課題発表			
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト10%、提出課題10%、課題発表内容40%、最終課題内容40%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	Webプロモーション論	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大野 淳	時間割	水曜 3限	開講期	通年
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年
授業科目の テーマと 目的	WEBサイトの分析や改善を行う(主にSEO関連、ライティング)				
学習到達 目標	実践レベルでサイト内の改善ができるようになる。各種ライティング技法の習得				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 SEO対策業務、セールスライティング、SEOライティング、コピーライティング、広告運用 の実務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説について			
2	SEO対策の概要	近年のSEO事情(Googleコアアップデート等)の理解			
3	SEO対策①	SEO対策による店舗集客について			
4	SEO対策②	SEO対策で企業間集客を行う方法			
5	SEO対策③	コーポレートサイトとオウンドメディアそれぞれのSEO対策について			
6	SEO対策④	競合調査、順位計測方法の解説			
7	SEO対策⑤	WEBサイト内の構造化データについて解説			
8	SEO対策⑥	内部リンク対策や重要性の解説			
9	SEO対策⑦	ワード分析、チェック、被リンク対策の重要性についての解説			
10	SEO対策⑧	各ジャンルのSEO対策(ECサイト、求人サイト等)の方法			
11	MEO対策の概要	MEO対策を施す理由や必要性について			
12	MEO対策①	MEO対策の手順について			
13	SEO/MEOまとめ	SEO/MEOのまとめ			
14	サーチコンソールについて	サーチコンソールを使ったサイト内改善方法の解説			
15	前期終了試験				
16～17	セールスライティング	セールスライティングの基礎や考え方の解説			
18～20		実践(実際にセールスライティングを行う)			
21～23	SEOライティング	SEOライティングの基礎や考え方の解説			
24～26		実践(実際にSEOライティングを行う)			
27	AIを使ったライティング	チャットGPT、Geminiなどを使用したライティング方法やプロンプトについての解説			
28	SNS活用法	Instagramを使ったプロモーション＋基本操作について解説			
29	まとめ	試験対策			
30	後期修了試験				
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、課題作成50%、修了試験30%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	デジタルプロモーション	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高橋 良昌	時間割	火曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年
授業科目の テーマと目的	現役のインフルエンサーを講師に招き、セルフプロモーションの手法について学習する。携帯での「ばえる」写真の撮り方「YouTube」向けの動画編集、フォロワーとの円滑なコミュニケーション構築手法など自己アピールやコミュニティの広げ方について学習する				
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、目標目的に合わせたプロモーションの企画書を作成しプレゼンテーションできる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無 【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	イベント紹介 SNSについて①	学園祭等のイベントをアピールするための効果的なSNSの利用について実践を交えながら講義			
5～6	SNS効果の 測定と評価について①	閲覧数やフォロワーの評価、相互フォローなどSNS評価と測定について			
7～10	イベント紹介 SNSについて②	学園祭等のイベントをアピールするための効果的なSNSの利用について実践を交えながら講義			
11～12	SNS効果の 測定と評価について②	閲覧数やフォロワーの評価、相互フォローなどSNS評価と測定について			
13～14	振り返り	2名の講師を迎えて実際のインスタグラマーがどのような活動をし、目標や目的をどこに定めているのかを比較し企画書を作成する			
15	プレゼンテーション	今回の学習で得たものを個別にプレゼンテーションを行い、学習の成果を自己評価および他者評価により確認する			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出課題40%、レポート発表内容60%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	写真映像撮影技法 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	帽子 悠			時間割	水曜 4・5限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと目標	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界で必須となる基礎の撮影知識						
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コマーシャル業界でのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関する基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	フォトディレクション思考	SNS時代の写真とディレクション ファッション業界における写真の有用性を知る イメージを伝える写真と理解してもらうための写真の違い 撮影能力と同等に必要なディレクション能力について 撮影の段取りと準備 実際の現場の写真を例に挙げ撮影準備やそのコンセプトを学ぶ ファッション写真の撮り方とその方法					
3～4	カメラ&撮影基礎知識	デジタル時代の写真と機材(レンズ含む) データの扱いについて レンズの違いによる作品の違い DPI(解像度)の違いや画像形式、その取り扱い カメラの使い方、モードと撮影方法について 画像補正方法					
5～6	写真表現	光の強さ/光の方向 光の違いによる写真の違いとコントロール方法を学ぶ 実習1 スマートフォンを使ってさまざまな光を探して小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってレタッチしてみる					
7～8	写真表現	アングル/背景/構図 アングルや構図、背景の違いを知る 実習2 スマートフォンを使ってさまざまな背景を使って小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってレタッチしてみる					
9	メディア別写真	紙とwebと写真 写真の撮影紙表現用撮影とWEB撮影用の違いとその撮影アプローチ 写真レイアウトや撮影後のデザイントリミングの有用性などWEB×写真 デジタル技術の浸透とDX化によるWEB×写真 SNS×写真					
10～15	撮影テクニック (一眼レフカメラ使用)	実習3 人物編—撮影からレタッチまで 実習4 商品撮影編—撮影からレタッチまで 実習5 課題研究(撮影から画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライトなど						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	写真映像撮影技法Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	服部 拓也			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと 目的	カメラ機材の扱い方、撮影技術を学び、撮影によるファッションの表現方法を考える。撮影を通じて、ファッションのイメージを深め、それを表現する撮影テクニックを学ぶ						
学習到達 目標	デジタル一眼カメラの基本的な性質を理解し、イメージを写真により表現する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 撮影に関する基礎知識を講義し、カメラ実機やストロボを用いた撮影方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	撮影基礎	カメラとレンズの基本知識(シャッタースピード、F値、ISO感度など)を復習する 様々な写真イメージを共有し、撮影のイメージの幅を広める 一眼レスカメラを使い簡単な撮影をし、基本知識の理解を深める					
4～6	写真表現(ロケ撮影)	カメラの基本知識の定着を図る 自然光での撮影をし、自然光での表現方法を学ぶ 画角、背景等意識をした撮影を経験する					
7～8	写真表現(ロケ撮影)	複数イメージを撮影し撮影イメージの幅を広め、 写真レイアウトについての理解を深める。					
9	ライティング基礎	ストロボ機材、バック紙の扱い方を学ぶ。 ライティングによる基本的な光の性質、表現方法を学ぶ。					
10～12	写真表現(ライティング)	ライティングによる撮影を通じて、ライティングを駆使した光の表現方法の理解 を深める バック紙背景での撮影のイメージの幅を広める					
13～15	写真表現(モデル撮影)	これまでの授業での学びを活用し、コーディネートされた衣装のブランディング 撮影をする 衣装作成者(またはコーディネーター)の意図したイメージを共有・理解した上 でそれを表現する					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、パソコン、カメラ(一眼・デジカメ)、ストロボ、バック紙など						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、作品80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	WebプログラミングⅢ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	梶田 一貴			時間割	月曜 1・2限 金曜 1～3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと 目的	HTML/CSSにJavaScriptを加えた動的なWebサイトの制作とWordPressによるWebサイト制作。Web制作の観点から必要とされる基本技術は大きく2つ。HTML/CSSをベースにしたWebサイト制作とWordPressを使ったWebサイト制作である。この両方について実践レベルでの制作力を身につける						
学習到達 目標	HTML/CSSとJavaScriptを使った実践レベルのWebサイト制作と、WordPressを使った独自テーマの制作。※JavaScriptについては1年後期からの継続カリキュラム						
担当教員の授業に関 わる実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	さまざまな反復処理	同じような処理を繰り返す処理のうち、while文について学習する。指定回数繰り返す場合と、条件が成立している間、もしくは成立していない間は処理を続ける回数の決まりのない処理について学習する					
5～8	ファンクション、配列	よく使う処理を一つにまとめた小さなプログラムで、使いたいときに呼び出して任意に利用できるファンクションについて学習する。併せて、繰り返し処理やファンクションでよく使われる配列についても学習する					
9～12	オブジェクト	ここでは、複数のデータをまとめて一つの変数(または定数)で管理するためのオブジェクトについて学習する。前回の配列と似ているが、もちろん違うところもある。データの特性や配列との擬態について詳細に学習する					
13～16	入力とデータの加工	「イベント」を利用してプログラムが動作するタイミングを制御する処理について学習する。テキストフィールドに入力されている内容を読み取ってそれをHTMLへ反映させるという、頻出の処理について学習する					
17～20	URLの操作、ブル属性の設定、cookie	ブルダウンメニューを使って、別ページに移動するためにURLを書き換えること、HTMLを操作してフォーム関連のタグでよく使われるブル属性の設定の2つについて学習する。また、ボタンをクリックしたことがあるかどうかを判定するためのcookieについても学習する					
21～24	イメージの切り替えとスライドショー	サムネイルをクリックすると画像が切り替わるという、Webサイトでよく見かける処理について学習する。併せてその応用であるスライドショーについても学習する					
25～30	課題制作 (JavaScript)	指定された機能を取り入れたWebページをHTML/CSSとJavaScriptで期間内に制作する					
31～32	WordPressの基礎知識	世界で最も多く使われているCMS (Contents Management System) であるWordPressについて、HTML/CSSで作成された通常のWebサイトとの違い、WordPressを用いるメリットなどを学習する					
33～36	サーバーの準備とWordPressのインストール	Webサイトを作成し、公開するためのサーバーの仕組みを解説し、その後実際にサーバーの構築を行う。併せてWordPressのインストールも行う					
37～41	テーマの設定・ページ作成	作成するWebサイトに合わせたテーマを設定し、ダッシュボードの機能を確認しながらサイト作成の初期設定を行う。ブロックエディタを使った固定ページ、投稿ページについても学習し、実際に両ページの作成を行う					
42～46	トップページの作成とプラグインのインストール	サイトの顔となるトップページを作成し、背景色やトップ画像の設定を行う。また、お問い合わせフォームや予約カレンダー、セキュリティに使われるプラグインについてもよく使われるものを紹介し、インストールする					
47～51	ナビゲーションの設定	操作性の良いサイトを作成するためのナビゲーションについて学習しながら、グローバルナビ、フッターナビ、ハンバーガーナビなどを作成する					
52～56	Webサイトの集客を図る。	作成したWebサイトを世の中の人々に見てもらえるようにインデックスの設定、SEO、SNS連携について学習し、サイト設定を行う					
57～63	セキュリティ対策	WordPressはそのシェアが高いために、セキュリティ対策を行わなければサイバー攻撃により被害を受ける確率も高くなる。ここではWordPressでサイト運営を行うための十分なセキュリティ対策について、プラグインの利用も学習しながら行っていく					
64～65	課題制作 (WordPress)	指定された機能を取り入れたWebページをWordPressで期間内に制作する					
66～75	期末試験	提示された機能を取り入れたWebページをHTML/CSS、JavaScript、WordPressを用いて期間内に作成する					
使用テキスト 教材・教具	『確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版』狩野 祐東 (著)/SBクリエイティブ 『ゼロから学ぶ はじめてのWordPress 第2版 簡単にできるWebサイト制作入門』泰道 ゆりか (著)/SBクリエイティブ						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題制作 (JavaScript) 30%、課題制作 (WordPress) 30%、期末試験40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネットワーク論	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	安藤 保	時間割	月曜 3限	開講期	通年
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年
授業科目の テーマと 目的	Webサイトを取り巻くインターネットの仕組みと、Webサイトへの攻撃手法の仕組みや実際の攻撃デモを通して理解を深めて安全なWebサイト作成への手法を体験理解する				
学習到達 目標	ホームページが見える仕組みと、代表的なWebに潜む脆弱性について理解すること				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 Webアプリケーションサーバー構築・運用・保守等の業務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	Part1、Part2 P14～P50	インターネットの基本、ネットワークとPCの接続			
3～4	Part3 P52～P76	OSI参照モデルと階層別ネットワーク機器について			
5～6	Part4、Part5 P78～P134	LAN規格とケーブルやトポロジ、CSMA/CDについて 無線LAN規格と速度、周波数、セキュリティ対策			
7～8	Part6 P136～P172	IPv4、IPv6のアドレス表記と計算方法 IP基本プロトコル(ARP)			
9～10	Part7 P174～P198	TCPとUDP(違い、役割、ポート番号)について			
11～12	Part8、Part9 P200～P252	ルーティング種別と主なルーティングプロトコルについて 基本的なインターネットの基本的なサービスについて			
13～14	Part10、Part11 P254～P294	ネットワーク診断コマンドの操作方法 ネットワークのセキュリティ対策			
15～16	Webで用いるプロトコル	ホームページはどうやって表示されるか URL、HTTP、HTTPS、SSLなどの機能仕様について			
17～18	GETとPOST SQL文組み立て方法	Formで使うGET、POSTの仕様と違いと使用方法 SQLインジェクションの仕組みと対策方法			
19～20	クロスサイト攻撃	クロスサイト・スクリプティング、クロスサイト・リクエスト・フォージェリの仕組みと対策方法			
21～22	各種インジェクション攻撃	ディレクトリ・トラバーサル、OSインジェクションの仕組みと対策方法			
23～24	セッション管理と認証・認可	セッション管理に不備、認証制御での脆弱性と対策方法			
25～26	HTTPヘッダと バッファオーバーフロー	HTTPヘッダ・インジェクション、バッファオーバーフローの仕組みと対策方法			
27～28	クリックジャック等	クリックジャッキング、メールヘッダ・インジェクションの仕組みと対策方法			
29～30	システム情報漏えい 期末テスト	エラーメッセージ、オープンリダイレクト仕組みと対策方法			
使用テキスト 教材・教具	『[改訂4版]TCP/IPネットワーク ステップアップラーニング』三輪賢一/技術評論社 (ISBN:9784774193618)				
参考図書 参考文献	IPA資料「安全なウェブサイトの作り方」 脆弱性を持ったデモサイト				
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、期末テスト50%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	データベース論	時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	8
担当教員 (資格等)	勝本 伸二	時間割	水曜 1・2限	開講期	通年
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年
授業科目の テーマと 目的	ネットショッピングや予約システムで検索を行ったり、残数を確認できるのは、サーバサイドでデータベースが利用されているからである。講義では、そのデータベースのデータを操作するためのSQL、そしてクライアントとのリクエスト/レスポンス処理のためにデータベースにアクセスするPHPについて学習する				
学習到達 目標	Webシステムにおけるデータベースの役割の理解、及びSQLが記述できるスキルを習得する				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 SQLServer、MySQLを利用したオンプレミスシステム開発、MySQL+Apache+PHPを利用したWebシステム開発等の実務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	動作環境の構築	データベースの概要、及びMAMPのインストール			
2	MySQLの基本操作	データベースへの接続、データベース、ユーザ作成、テーブルとレコード操作の基本			
3～4	データベースの基本操作	重複の除去、レコードの検索、絞り込み、あいまい検索、論理演算子 レコードの追加、更新、削除			
5～6	並び替えと集計	特定範囲のレコード抽出、集計、並び替え 代表的な関数と使用方法			
7～9	データベースの高度操作	内部結合、外部結合、サブクエリ、インデックス、トランザクション			
10～11	MySQLとPHP	PHPの基本とHTMLへの記述、データベースへの接続			
12～17	応用アプリの作成	スケジュール管理アプリの作成(スケジュール一覧、スケジュール登録・削除)			
18～23	応用アプリの改良	ログイン機能とログインユーザ毎のスケジュール管理、スケジュール変更機能を追加 データベースのトランザクション処理			
24～29	簡易WebShopの開発	ログイン画面によるユーザ認証 商品一覧からカートへ追加、カート確認、注文確定、注文履歴の表示			
30	前期まとめテスト				
31～38	ひとつのテーブルを扱うSQL	条件によるレコードの絞り込み、グループ単位の集計、及び集計した結果の絞り込み			
39～46	複数のテーブルを扱うSQL	内部結合、外部結合、自己結合、副問い合わせ、集合演算			
47～54	追加・更新・削除のSQL	1件、及び複数レコードの追加、レコードの更新・削除 副問い合わせを利用したレコードの更新・削除			
55～59	実践的な課題に対するSQL	仕様書からSQLの組み立て(考え方)と書き方			
60	後期まとめテスト				
使用テキスト 教材・教具	『3ステップでしっかり学ぶ MySQL入門 [改訂3版]』山田祥寛・山田奈美/技術評論社 『SQL書き方ドリル』羽生章洋・和田省二・菅井大輔/技術評論社				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、まとめテスト70%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	2コマに1度を基本として、理解度確認のための小テストを実施する				

授業科目	制作実習Ⅲ			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	高橋 良昌			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと目的	グループ毎で計画、設計したWebサイトシステムの制作を行う。後期3作品の作成。後期は動的なWebサイト(各手法)を課題とする。						
学習到達 目標	就職活動用作品と、進級制作発表作品の制作を行い、Webクリエイターとしてのスキルアップを目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	企画立案	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成					
3～4	概要設計	概要設計資料の作成を行う					
5～9	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
10～20	製作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
21～23	発表会準備・発表	各自が作成したwebサイト等の作品を発表する					
24～28	企画立案 概要設計	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成 概要設計資料の作成を行う					
29～32	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
33～43	製作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
44～48	発表会準備・発表	各自が作成したwebサイト等の作品を発表する					
49～50	企画立案 概要設計	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成 概要設計資料の作成を行う					
51～54	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
55～57	製作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
58～59	発表会準備	各自が作成したwebサイト等の過去3作品を発表準備					
60	進級制作発表	進級製作発表を行う					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	成果物(作品、企画書、仕様書)100%で評価する						
履修上の 留意点	グループ内での作業負荷が個人に集中しない ように進めていくこと			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	制作実習Ⅳ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	高橋 良昌			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース2年		
授業科目の テーマと目的	グループ毎で計画、設計したWebサイトシステムの制作を行う。後期3作品の作成。後期は動的なWebサイト(各手法)を課題とする						
学習到達 目標	就職活動用作品と、進級制作発表作品の制作を行い、Webクリエイターとしてのスキルアップを目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	企画立案	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成					
3～4	概要設計	概要設計資料の作成を行う					
5～9	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
10～20	制作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
21～23	発表会準備・発表	各自が作成したwebサイト等の作品を発表する					
24～28	企画立案 概要設計	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成 概要設計資料の作成を行う					
29～32	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
33～43	制作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
44～48	発表会準備・発表	各自が作成したwebサイト等の作品を発表する					
49～50	企画立案 概要設計	作成する作品の企画を立てる、進捗管理表の作成 概要設計資料の作成を行う					
51～54	詳細設計	概要設計資料をもとに、詳細設計の作成を行う					
55～67	制作作業	概要、詳細をもとに、制作作業を行う					
68～74	発表会準備	各自が作成したwebサイト等の過去3作品を発表準備					
75	進級制作発表	進級制作発表を行う					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	成果物(作品、企画書、仕様書)100%で評価する						
履修上の 留意点	グループ内での作業負荷が個人に集中し ないように進めていくこと			検定試験の 概要			
備考							